

2015年6月8日掲載

歯の根の治療

住宅の基礎と同じく大切

歯の内部には俗に神経と呼ばれている歯髄というやわらかい組織があり、あごの骨の中の神経や血管とつながっています。そのためむし歯が歯髄に達すると痛みを生じます。

そのまま放置しておくと内部に細菌が繁殖したり、また、歯の根の先端に（骨の内部に）病巣ができることもあります。根の先端の病巣は放置すると大きくなり、^{ちくのう}蓄膿 症などになる危険もあるので早めの治療が必要です。

歯の根の治療は回数がかかり、一回の治療時間が長いために患者さんにとってやや^{おっくう}億劫 な治療に感じるかもしれません。しかし、この治療は、住宅でいえば基礎部分に当たる最も大事な部分ですからしっかりと治療することが必要です。

治療では金属製の小さなスクリューのような器具で内部の汚染物質を丁寧に取り除いていきます。時間がかかる上にかなり精密な手作業が要求されます。

口を長時間開いていることが困難な人や鼻が詰まっている人、^{おうと}嘔吐 反射の強い人、^{せき}咳 が出る人などは、治療が困難になるので、配慮が必要です。

歯の中をきれいにして消毒をしたら専用の薬剤を詰めて密封します。これをしないと後々細菌がまた繁殖してしまうことがありますので非常に重要です。

薬剤を詰め終わったら今度は土台づくりです。いろいろな種類の土台がありますが、力をうまく分散させて根が割れないようにしないといけません。細心の注意を払って土台を作るのです。